

太宰治 (だざいおさむ)

校長室より

暗唱だより
令和5年4月10日
第三吾孀小学校長
川中子 登志雄

入学・進級おめでとう

令和5年度がスタートしました。入学、進級おめでとうございます。

今年度も「自立」「共生」「健康」の学校教育目標に向かって、みんなでがんばっていきましょう！

さて、校長室「暗唱チャレンジ」の取組は、今年で6年目を迎えました。毎年、多くのみなさんが挑戦し、昨年度はグランドスラムを達成した人が日本語課題・70名、英語課題・33名もいました。

今、みなさんに取り組んでもらっている暗唱の課題は、人類の財産です。それを声に出して唱えることで、皆さんの頭と心の中に、大切な「ことば」がきざまれていきます。それは、大人になったとき、教養としてにじみ出てくるようになり、みなさんの品格を高めることでしょう。幸い、皆さんの脳はとても新しいので、ものを覚えるのがとても得意なのです。子供のうちに覚えたことは一生忘れません。今年も、ぜひ多くの人に挑戦してもらいたいと思っています。

4月の課題は「走れメロス」

4月は、太宰治の「走れメロス」に挑戦してもらいます。昭和の初期に活躍し、今でも多くのファンがいる小説家・太宰治（本名：津島修治。1909年〈明治42年〉6月19日 - 1948年〈昭和23年〉6月13日）は、青森県津軽の大地主の家に生まれました。太宰の作品は、どちらかというとい暗いイメージの作品が有名ですが、この「走れメロス」（1940年）は、友情を守るために、処刑される事を覚悟の上で王の元に走るメロスの姿をいきいきと描き、その道徳的な内容から、学校の教科書でも取り上げられています。曲がったことが大っ嫌いなメロスが、様々な苦しみをくぐり抜け、それでも友達との友情のために走り続けるという、感動的なお話です。

太宰治は口実筆記（声に出して話したものを、他の人が書き取ること）で書かれた作品もあります。書き取った妻の話では「蚕が糸を吐くように口述し、淀みもなく、言い直しもなかった」ときもあったそうです。すごいですね！

そのほか、1年生（と転入生）には、今年も特別課題を出します。「第三吾孀小学校教育目標」です。この課題には、全員に合格してほしいと思っています。4月中旬に合格できるように頑張ってください！

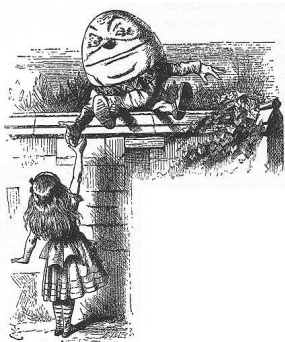
暗唱に合格した人は、毎月はじめにこの暗唱だより「校長室より」で名前を発表します。今年も、たくさんの人に挑戦してほしいと願っています。

健康
しなやかで丈夫な
こころとからだをもつ人

共生
思いやりをもち、共に生きる人

自立
自ら学び、考え、行動する人

◎ 教育目標



4・5月の英語課題は『ハンプティ・ダンプティ』

R3年度の復習課題です。「ハンプティ・ダンプティ」は、マザーグースのうたの一つで、「鏡の国のアリス」というお話（ディズニー映画にもなっている「不思議の国のアリス」の続編）にも登場する不思議なキャラクターです。もともとは、なぞなぞの詩でした。練習用の動画もロイロノートで送ります。